

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容（表現）				
担当者氏名	笠川 武史				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・秋期

《授業の概要》

目標達成のため、
 子どもの造形活動について、理論的に理解を深める。
 造形遊びを中心に、子どもの目線に立って作品制作を行い、
 保育者としての自己表現力を高める。
 保育指導案作成のために必要な自分の感性を高める。

《テキスト》

花篤實・岡田愨吾編著 平成21年「新造形表現 理論・実践編」三晃書房

《参考図書》

適宜、資料を配布する。

《授業の到達目標》

- ・子どもが表現活動を楽しみ、豊かな感性が育つように保育を構想するために大切な、保育者としての資質と能力を培う。
- ・幼児が表現を通して経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解する。

《授業時間外学習》

- ・日頃から子ども理解につとめ、造形・色彩分野に興味や関心を持っておく。
- ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
- ・毎回の学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
- ・最終課題(模擬保育、レポート)の内容 30%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス 造形遊び(1)	造形表現とは 新聞紙を使って 抽象作品
2	造形遊び(2)	新聞紙を使って 具象作品
3	絵をかく(1)	技法を使って 基礎
4	絵をかく(2)	技法を使って 応用
5	絵をかく(3)	技法を使って 共同制作
6	絵をかく(3)	技法を使って 共同制作と発表
7	子ども理解(情報機器を使用して)	子どもの造形表現での発達段階
8	版に表す(1)	身近な材料で 版をつくる
9	版に表す(2)	身近な材料で 摺り
10	立体アートをつくる(1)	紙を使って 基礎
11	立体アートをつくる(2)	紙を使って 応用
12	子ども理解を踏まえた表現活動(1)	自由制作 保育指導案の構成の理解、計画と制作
13	子ども理解を踏まえた表現活動(2)	自由制作 制作
14	子ども理解を踏まえた表現活動(3)	自由制作 保育指導案計画 発表(模擬保育)
15	まとめ	授業の振り返りと保育構想向上のためのレポート作成